

令和元年6月24日現在

機関番号：32518

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16K02082

研究課題名(和文)「見どころ」の分析から探る、観光資源としてのオープンガーデンの持続可能性

研究課題名(英文) A study of sustainability of Open Gardens in Japan as a community based tourism resource :Analyses of the view point in each garden

研究代表者

土屋 薫 (Tsuchiya, Kaoru)

江戸川大学・社会学部・教授

研究者番号：60227428

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：オープンガーデンの「見どころ」は、各庭でオーナーが力を注いでいる内容(たとえば植物の特定やエクステリアの配置など)について、思い入れ、ライフヒストリーとのつながりが重要であることがわかった。

また持続可能性を高めるための支援策として、平面地図をベースとした通常のwebページによるのではなく、地図リテラシーに左右されず直感的な庭の把握と操作が見込めるという点で、360度画像の加工をベースとしたタブレットによる連続的な情報提供のしくみが有効であることがわかった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

オープンガーデン訪問者の満足度は、オーナーとの情報交換によって決まるが、オーナーと訪問者との間には庭に関する認識のギャップがある。本研究は、このギャップを埋めるツールを開発、提供することで、短期的にオーナーの疲弊感を軽減するだけでなく、庭を公開し続ける意欲を支援し、オープンガーデンの持続可能な観光資源としての位置づけを明確にした。

このことは、オープンガーデンを一過性のイベントではなく、着地型観光のモデルとしてのまち歩きに、文化資源や自然資源とは異なる個人の物語性という新たな資源を提供し、交流人口を創出する持続可能な観光資源として位置づけることを可能にした。

研究成果の概要(英文)：There is a communication gap between visitors and Open Garden owners. Most owners of open gardens in Japan tend to lay out their own gardens based on their significant life events or personal memories. They would like to talk to visitors why they choose trees, flowers and rocks. However, visitors used to ask owners the name of trees, flowers and plants at first.

In order to get rid of bothering situation by same kind of questions, it's available to provide visitors the basic information by some tablet PC. In addition to this, it's important to provide information by the device to enable intuitive operation by using such as the 360° panoramic expanded image. Because most visitors might be senior generation and they are missing map literacy and IT literacy.

研究分野：レジャー社会学、観光創造

キーワード：観光資源 交流人口 情報交換 持続可能性 オープンガーデン

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

自宅の庭を無償公開するオープンガーデンは、2000年から15年間で公開地点が110か所以上増加するなど、交流人口を創出する観光資源としての側面に着目する必要があると考えられるが、観光学分野での研究成果は極めて少ない。先行研究では、オープンガーデンオーナーと訪問者が「趣味」を通じた緩やかな関係性を築いていること、その関係性こそが、オーナーにとっての公開継続の動機づけとなっていることがわかっている。

2. 研究の目的

本研究では、日本におけるオープンガーデンをフィールドに、オープンガーデンオーナーの考える庭の「見どころ」を、情報端末によって訪問者に提供し、両者の間に「見どころの共有」という共通点を作り出すことで、コミュニケーション阻害要因の解消を目指す。

3. 研究の方法

視覚・聞き取り調査を実施し、その結果から、オーナー、ボランティアガイド、訪問者の3者の視点からの庭の「見どころ」を把握し、アプリケーション開発を行う。また、アプリケーションを利用した訪問者の満足度を確認し、オーナーに還元する。

4. 研究成果

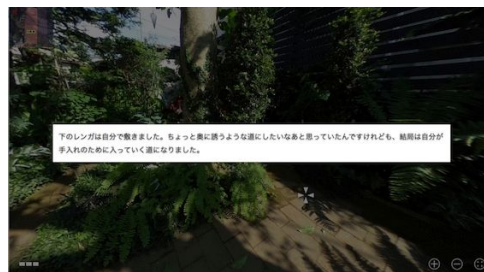
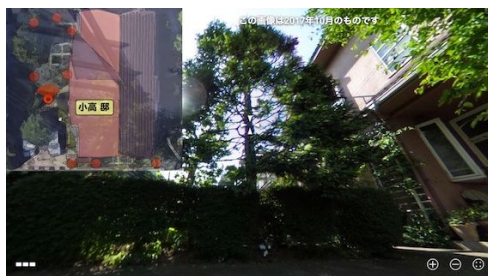
聞き取り調査の結果、各庭において、オーナーが力を注いでいる内容について、植物の特定、思い入れ、ライフヒストリーとのつながりといった視点から整理することが可能なことがわかった。

また視覚調査の結果、オーナーと訪問者の間には、視点の相違があることが確認された。また、これらの差異からは、オーナー自身が「見どころ」を教示する庭、訪問者が「見どころ」を発見する庭、オーナーがみせたいことと、見たいことが一致した庭の3つのタイプの庭があることが確認された。

またタブレット端末によるアプリケーションの開発と情報提供を試みた結果、持続可能性を高めるための支援策として、平面地図をベースとした通常のwebページによるのではなく、地図リテラシーに左右されず直感的な庭の把握と操作が見込めるという点で、360度画像の加工をベースとしたタブレットによる連続的な情報提供のしくみが有効であることがわかった。

これは具体的には、画面内に庭の全体図とスポット写真ポイントを明示するとともに、画面内に情報タグを点滅させ、同じ地点に関する情報(テキストないしアップ画像やち合う季節の情景画像等)の有無を示し、このタグをタッチすると、新たな情報が提供される仕組みである。これは既存の商業サービスにて実現可能となっている。

【360度画像による連続的情報提供事例】





5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計9件)

土屋薫、須賀由紀子、地域を支える社会関係資本形成仕組みの構築、江戸川大学紀要、査読無、第29号、2019、305-313

林香織、地域資源としてのオープンガーデンに関する情報発信方法の比較、江戸川大学紀要、査読無、第29号、2019、171-176

廣田有里、オープンガーデンウェブサイトの構築、江戸川大学紀要、査読無、第29号、2019、209-217

林香織、土屋薫、撮影者の視点からみる観光資源としてのオープンガーデン、江戸川大学紀要、査読無、第28号、2018、231-241

土屋薫、須賀由紀子、若者による地域の「見どころ」把握に関する基礎的研究、江戸川大学紀要、査読無、第28号、2018、325-335

下嶋聖、土屋薫、林香織、UAV画像を用いたオープンガーデンの見どころ情報発信の手法の開発、レジャー・レクリエーション研究、査読無、第82号、2017、120-123

崎本武志、日本の地方鉄道における観光利用と存続可能性に関する研究、HOSPITALITY、査読有、第27巻、2017、39-46

廣田有里、プログラミング教室を軸とした持続発展可能な地域コミュニティの研究、江戸川大学紀要、査読無、第27号、2017、273-279

土屋薫、着地型観光における見どころのイメージ形成に関する研究、江戸川大学紀要、査読無、第26号、2016、148-151

〔学会発表〕(計5件)

須賀由紀子、土屋薫、地域への愛着を育むまちあるきプログラムの検討、日本レジャー・レクリエーション学会、2018

村田有里、下嶋聖、中尾宏、鈴木伸一、金子忠一、ESG投資による植樹活動の管理計画支援システムの構築、日本レジャー・レクリエーション学会、2018

宮崎雅代、土屋薫、西彩菜、下嶋聖、レジャー資源としてのトピアリーの歴史と系譜、日本レジャー・レクリエーション学会、2018

福岡稔、伊勢康平、鈴木歳穰、伊東那奈、和田泉穂、土屋薫、須賀由紀子、まち歩きプログラムにおける景観評価手法、日本レジャー・レクリエーション学会、2018

崎本武志、地域鉄道の観光利用における地域集客可能性、日本ホスピタリティ・マネジメント学会、2018

6. 研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名：崎本 武志

ローマ字氏名：Sakimoto Takeshi

所属研究機関名：江戸川大学

部局名：社会学部

職名：教授
研究者番号（8桁）：00468951

研究分担者氏名：林 香織
ローマ字氏名：Hayashi Kaori
所属研究機関名：江戸川大学
部局名：メディアコミュニケーション学部
職名：准教授
研究者番号（8桁）：50458676

研究分担者氏名：下嶋 聖
ローマ字氏名：Shimojima Hijiri
所属研究機関名：東京農業大学
部局名：地域環境科学部
職名：准教授
研究者番号（8桁）：60439883

研究分担者氏名：廣田 有里
ローマ字氏名：Hirota Yuri
所属研究機関名：江戸川大学
部局名：メディアコミュニケーション学部
職名：教授
研究者番号（8桁）：60453479

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。